



# ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2012年（平成24年）1月25日号 No. 1551

## 目次

■ ロシアのWTO加盟で各地域が被る影響 —産業構造による類型化の試み—	1
■ キーパーソン カザフスタン議会下院選挙と内閣信任／6	6
■ トピックス 三井物産、ロシアで鉄道車両リース事業／8 KDDIがロシア社提携の日欧間波長サービス／8 道銀・住宅関連企業がサハリン建設業と協定／8 マトヴィエンコ上院議長、野田首相を表敬／8	8
■ エトセトラ 『調査月報』2012年2月号のご案内／9	9

## ロシアのWTO加盟で各地域が被る影響 —産業構造による類型化の試み—

### はじめに

「エトセトラ」のコーナーでお知らせしているとおり、今般発行された『ロシアNIS調査月報』の2012年2月号では、「ついに決定したロシアのWTO加盟」と題する特集をお届けしている。今回の速報では、月報には載録しきれなかった追加情報を掲載し、月報のWTO特集を補足することを試みたい。具体的には、ロシアのWTO加盟で、ロシアの各地域（連邦構成体）が被る影響について分析した資料を、以下に紹介する。当該の資料は、社会政策独立研究所編『ロシアのWTO加盟：想定および現実の社会的影響』（Независимый Институт Социальной Политики. Вступление России в ВТО: мнимые и реальные социальные последствия: Серия «Научные проекты НИСП - IISP Working Papers». Москва, 2003 г.）に掲載されたものだ。

この資料は、WTO加盟による市場開放が国際競争力の弱いロシアの諸産業に打撃を及ぼすことに着目し、各地域がどの程度の打撃を被るかを、その鉱工業生産の構造に応じて類型化したものである。影響を受けにくい産業としては、石油・ガス、冶金、木材・製紙、化学、燃料、漁業、石炭が想定されている。逆に打撃を受ける産業としては、機械、食品、